



2023年2月3日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 池田 有希子
(コード 4840 東証グロース)
問合せ先 取締役経理部長 上嶋 悦男
電 話 03(3221)0211

特別損失(個別決算)の計上、個別業績予想の修正及び剰余金の配当(無配)に関するお知らせ

当社は2022年12月期個別決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。それに伴い2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期(2022年1月1日~2022年12月31日)の個別業績予想を修正いたします。また、本日開催の取締役会において、2022年12月31日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)を行わないことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2022年12月期の個別決算において当社が保有する子会社株式のうち、濱野皮革工藝株式会社(連結子会社)及び株式会社クレアリア(連結子会社)の株式の実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき、特別損失として子会社株式評価損2,186百万円を計上いたします。

なお、当該子会社株式評価損は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2022年12月期通期個別業績予想の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

(1) 修正の内容

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	271	63	37	4円86銭
今回修正予想(B)	134	△29	△2,251	△288円95銭
増減額(B-A)	△136	△92	△2,288	-
増減率(%)	△50.3	-	-	-
(参考)前期実績 (2021年12月期通期)	410	162	230	31円15銭

(2) 修正の理由

(売上高の修正について)

連結子会社の業績回復のため、連結子会社が負担すべき経営指導料を見直した結果、売上高は271百万円(当初予想比50.3%減)と予想を大幅に下回る見込みです。

(経常利益の修正について)

人件費等の削減により、販売費及び一般管理費については142百万円(当初予想比33.2%減)と予想を大幅に下回る見込みであるものの、前述の売上高の減少を補うには至らず、18百万円の営業損失(当初予想は58百万円の営業利益)を計上する見込みとなりました。また、連結子会社の業績回復のため、連結子会社が負担すべき地代家賃を減額したことにより、17百万円の営業外収益(当初予想比44.0%減)及び29百万円の営業外費用(当初予想比8.5%増)を計上し、その結果、29百万円の経常損失(当初予想は63百万円の経常利益)を計上する見込みとなりました。

(当期純利益の修正について)

前述の子会社株式評価損2,186百万円を計上した結果、2,251百万円の当期純損失(当初予想は37百万円の当期純利益)を計上する見込みとなりました。

なお、2022年12月期通期連結業績予想につきましては、2022年10月28日付で公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。

3. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年11月11日公表)	前期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年12月31日	同左	2021年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	6円00銭	12円00銭
配当金総額	—	—	92,928,624円
効力発生日	—	—	2022年3月25日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2)理由

当社は、事業の成長、拡大による企業価値の向上を最重要課題として認識するとともに株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として11期連続で配当を実施してまいりました。当期の配当については、1株当たりの配当金額6円を予定しておりましたが、当期業績において当初の予想を大幅に超える特別損失を計上した結果、利益剰余金が予想を大きく下回るマイナスとなったため、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことになりました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げます。事業再構築を実施し、復配を目指して業績回復に努めてまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上